

業 績 書

※ 募集要項の「業績書(特徴ある活動)の評価について」および本紙裏面の「業績書の記入上の注意点」をよく読んでから記載願います。

志願者	フリガナ 氏名		性別	昭和 平成	生年月日 年 月 日	受験番号	※大学使用欄(記入不要)
			男 女				

(1) 業績として申請する「 特徴ある活動 」 <u>一つだけを簡潔に記載</u> してください。	左欄の「特徴ある活動」のランクとして申請するランクに○を付してください。
	A・B・C・D
	※大学使用欄

(2-ア)
上記(1)に記載したものが、①スポーツ関係
②文化・芸術・学術関係
③資格・検定
⑤校内活動のいずれかである場合、その具体的な内容や補足説明を記載してください。
※ 添付する客観的資料等の写しに資料Noを振り、枚数を記入してください。
※ ①②③などの表記は、募集要項の「業績に該当する特徴ある活動の内容等とランクについて」の表中の「特徴ある活動の区分」です。

(具体的な内容・補足説明等) ※ 記入にあたって記入スペースが不足する場合は、この用紙を複数枚印刷して記入してください(以下同様)。

(上記の、大会・コンクールの主催団体、段位・資格・検定試験等の実施団体や認定団体を記載)

添付した客観的資料の名称	添付資料ナンバー	資料の枚数
	No.	枚
	No.	枚
	No.	枚
	No.	枚
	計	枚

(2-イ)
上記(1)に記載したものが、④地域活動やボランティア活動である場合、その具体的な内容や補足説明を記載してください。
※ 添付する客観的資料等の写しに資料Noを振り、枚数を記入してください。
※ ④の表記は、募集要項の「業績に該当する特徴ある活動の内容等とランクについて」の表中の「特徴ある活動の区分」です。

地域社会での活動期間 ボランティアでの活動期間 (総活動時間数)	活動場所や団体名	活動内容もしくは証明内容	添付資料 ナンバー	資料の 枚数
			No.	枚
			No.	枚
			No.	枚
			No.	枚
			計	枚

※ 記入にあたって欄が不足する場合はこの用紙を複数枚印刷して記入してください。

(3)
令和 年 月 日作成

記入者氏名 ㊞

注) 業績を客観的に証明できる**根拠資料を必ず添付**してください。添付されていない場合は、**評価ができません**。

業績書の記入上の注意点

1. 業績書の記入は基本的に出願者本人ですが、出願者の担任教諭が記入されても結構です。
2. 氏名・フリガナをかい書で丁寧に記入してください。
3. 性別欄はいずれかに○を付してください。
4. “業績(=特徴ある活動)”とは、平成30年4月1日以降の文化活動、スポーツ、ボランティア活動、校内活動等における顕著な活動や、各種検定等の資格取得などを指します。
(記入にあたっては、募集要項の「7 業績書(特徴ある活動)の評価について」を参照ください。)

5. (1) 欄の記入

- ・ 募集要項の「7 業績書(特徴ある活動)の評価について」に掲載されている表を参考に、自身の業績の中で一番「ランク」が高くなると思われる活動(客観的に証明できるもの)を一つに絞って記載してください。
- ・ 記入した業績についての「申請ランク」をA・B・C・Dから選んで○を付してください。

6. (2-ア)または(2-イ)欄への記入

- ・ 欄(1)に記載した「活動」の区分(下表)に応じて、(2-ア)または(2-イ)のいずれかの欄を用いてそれぞれの欄の事項に沿って、記入してください。

特徴ある活動の区分	それぞれの区分に対応した欄
①スポーツ関係	(2-ア)
②文化・芸術・学術関係	
③資格・検定	
④地域活動やボランティア活動	(2-イ)
⑤校内活動	(2-ア)

7. (3) 欄には、本紙の作成日と記入者の氏名を記入し、押印して提出してください。

8. 「業績書」に添付する資料について

記入いただいた「特徴ある活動」の申請ランクを確認するために、それを証明する客観的資料が必要になります。

- ・ 客観的資料となり得るものの例は、募集要項の「7 業績書(特徴ある活動)の評価について」を参照ください。
- ・ この業績書の提出にあたっては、客観的資料の写し(A4サイズにコピーしたもの)を添付してください。(何も添付されない場合のランクは「なし」になります。)
- ・ 客観的資料が、大会への参加や資格等の取得などに拠る場合、大会や検定等の実施団体や主催団体、所属団体等の名称と、連絡先を明記してください。